

働く仲間はたたかうN関労に結集しよう!!

LALUZ

(ラ・ルース)

2011年1月11日(火) 号外

N関労 西日本NTT関連労働組合

発行責任者 兼廣 英治

事務所：尼崎市武庫町 1-36-22 NTT 武庫之荘別館 3F

Tel. 090-8979-5088 Fax. 06-6436-4076

Eメール: takara-kanet@kobe.email.ne.jp

<http://www.n-kanrou.com/>

闘う春闘を取り戻そう

11春闘アンケートにご協力を

NTT労組は今年も要求見送り・・・

大変苦しい・・・58%、苦しい・・・40%。

この数字は西N関労が10春闘で退職再雇用者を対象に行ったアンケート結果である。なんと回答者の98%が生活苦を訴え、その殆どの方が退職金を切り崩したり、家族をパートやアルバイトに出すなどして生計を立てていることが明らかになった。

そんな悲痛な声が聞こえないのだろうか。NTT労組は今年もベア要求を見送る方針のようだ。

朝日新聞は「NTT労働組合が2011年度春闘で、基本給などのベースアップ(ベア)要求を見送る執行部案を固めたことが22日、分かった。同労組のベア見送りは2年連続。NTTの10年9月期連結決算は増収増益だったが、11年3月期末では減収増益となる見通しであることを考慮した。11年2月16日開催の中央委員会で決定する」(12月23日)と報じている。

これより先、12月2日に行われている連合第59回中央委員会では11春闘方針が討議され、給与総額で1%の改善要求が打ち出されている。1%の賃上げ要求は我々の苦しい生活実態からかけ離れた要求額であり、数字的に最低の1%に

渋々したかのようなのである。しかも1%の賃上げは連合としての統一要求ではなく、各労組の努力目標としている。しかしながら、超優良企業の組合であるNTT労組が要求見送りとなれば11春闘に暗い影を落とすことは必至だ。

連合もNTT労組も同じ穴の貉であるならば、連合は1%の賃上げ要求をNTT労組をもって打ち消したとの見方もできる。

交渉で生きたアンケート

10春闘ではアンケートを元にした要求でハイホン中国と団体交渉を行った。アンケートで得られた生活実態を訴える中、会社は退職再雇用での大幅賃下げが労働意欲の低下を招いていることを認めざるを得なかった。

11春闘もアンケートを実施し、生活実態の事実を訴えて行きたいと考えている。

毎年同じようなアンケートにはなるが、より具体的な生活実態を知るための項目も設けさせていただいた。

一人で春闘は闘えないが、闘う春闘を取り戻すためにもアンケートで春闘に参加していただければと思っている。是非ともご協力を。